



2017年11月14日
アイダエンジニアリング株式会社
代表取締役社長 会田 仁一

中国 FMC (Future Mobility Corp.) より EV 生産用大型サーボタンデムライン受注

アイダは、「BYTON」ブランドの電気自動車(以下 EV)を製造する中国ベンチャー企業 Future Mobility Corp. (以下 FMC) より、EV 用ボディパネル成形用の大型サーボタンデムラインを受注しました。

本ラインは、加圧能力 25,000kN のプレス機械をはじめとする 5 台のサーボプレスで構成されており、受注金額は約 40 億円です。プレス機械だけでなく、ライン前方の材料供給装置、後方のオートパレタイジングシステムを含め、ライン全体をアイダが設計・製造しております。ライン最速SPMは 18min⁻¹~20min⁻¹と、高い生産性が特徴で、アルミ材成形にも対応しています。

世界最大の自動車市場である中国では、大都市の排気ガス対策が急務となっており、補助金制度や優遇措置の導入により国策的に EV の開発・販売を推進しています。さらに、フランス・イギリスが 2040 年までにガソリン車・ディーゼル車の販売禁止を決定するなど、地球環境問題を背景に、世界的な EV 需要が急速に高まっております。

FMC は 2019 年~2022 年を目標に、スポーツカータイプ、セダンタイプ、7 人乗りワゴンタイプの 3 種類の EV の発売を予定しています。今回受注した大型サーボタンデムラインが納入されるのは、今年 1 月に FMC が江蘇省南京市の南京経済技術開発区に立ち上げた EV の生産工場で、本ラインは、2019 年 3 月稼働開始を予定しています。

アイダグループとして、今回のサーボタンデムラインは中国で 5 ライン目となります。引き続き、中国におけるシェア拡大を目指し、高機能サーボプレスシステムの販売強化、および付加価値の拡大に努めてまいります。

以上



※FMC 納入ラインと同等タイプのサーボタンデムライン